# 平成 17 年青森県産業連関表の概要について

平 成 ２ ２ 年 ３ 月青森県企画政策部統計分析課

# １．青森県産業連関表について

青森県産業連関表は、本県において１年間に、産業、政府、家計などの経済主体が行った財貨・サービスに関する取引を行列形式で一覧表にしたものである。

産業連関表を部門ごとにタテ（列）方向に見ると、その部門の財貨・サービスの県内生産額とその生産に用いられた投入費用構成がわかる。また、部門ごとにヨコ（行）方向に見ると、その部門の財貨・サービスがどの部門でどれだけ需要されたのか、産出（販売）先構成がわかる。

今回公表するのは平成 17 年表で、本県では昭和 39 年に「昭和 35 年青森県産業連関表」を公表して以

降、国に合わせてほぼ５年ごとに作成しており、今回で 10 回目となる。

また、付帯表として雇用表を公表（平成７年表から作成、今回で３回目）している。

産業連関表は、経済に関する各種統計を加工して作成したものであり、経済構造の分析、経済施策の波及効果分析、経済の将来予測等に利用されている。

青森県産業連関表を供給側からみると、平成 17 の財貨・サービスの総供給は 10 兆 1,651 億円で、う

ち県内生産額は 7 兆 4,999 億円、移輸入は 2 兆 6,652 億円であった。

県内生産額の構成をみると、生産に用いられた原材料・燃料等の財貨及びサービスの中間投入は 3 兆

1,072 億円で、生産額に占める割合を示す中間投入率は 41.4％となった。また、粗付加価値は 4 兆 3,927 億円で、生産額に占める割合を示す粗付加価値率は 58.6％となった。

一方、需要側からみると、平成 17 年の財貨・サービスの総需要は 10 兆 1,651 億円で、うち生産用の

原材料・燃料等の財貨及びサービスに対する中間需要が 3 兆 1,072 億円、最終需要が 7 兆 579 億円であった。

表１ 平成17年（2005年）青森県産業連関表（３部門） （単位：億円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | | 中間需要 | | | | 最終需要 | | | | | 需要合計 | 移 輸 入 | 県生 | 産 | 内額 |
| 第 １ 次産 業 | 第 ２ 次産 業 | 第 ３ 次産 業 | 内 生  部 門 計 | 消 | 費 | 投 資 | 移 輸 出 | 最 終  需 要 計 |
| 中間投入 | 第産 | １ | 次業 | 382 | 1,561 | 134 | 2,077 | 387 | | 168 | 2,377 | 2,932 | 5,010 | -979 | 4,031 | | |
| 第産 | ２ | 次業 | 871 | 7,057 | 5,229 | 13,156 | 6,038 | | 8,898 | 10,115 | 25,052 | 38,208 | -16,498 | 21,711 | | |
| 第産 | ３ | 次業 | 552 | 4,377 | 10,910 | 15,839 | 33,280 | | 2,066 | 7,248 | 42,594 | 58,433 | -9,175 | 49,258 | | |
| 内部 | 門 | 生計 | 1,805 | 12,994 | 16,273 | 31,072 | 39,706 | | 11,132 | 19,741 | 70,579 | 101,651 | -26,652 | 74,999 | | |
| 粗付加価値 | 雇所 | 用 | 者得 | 647 | 4,493 | 17,389 | 22,529 | （注）37部門表による。  第１次産業：農業、畜産、林業、漁業  第２次産業：鉱業、製造業、建設、電力・ガス・熱供給、事務用品 第３次産業：水道・廃棄物処理、商業、金融・保険、不動産、運輸、  情報通信、公務、サービス、分類不明  四捨五入の関係で内訳は必ずしも合計と一致しない。 | | | | | | | | | |
| 営 業  余 剰 | | | 967 | 1,382 | 6,535 | 8,885 |
| 資本減耗引 当 | | | 428 | 1,817 | 6,953 | 9,199 |
| その他粗付加価値 | | | 183 | 1,024 | 2,108 | 3,314 |
| 粗付加価値部門計 | | | 2,225 | 8,716 | 32,985 | 43,927 |
| 県生 |  | 産 | 内額 | 4,031 | 21,711 | 49,258 | 74,999 |

# ２．平成 17 年青森県産業連関表からみた生産波及の大きさ

平成 17 年の逆行列係数表（[*I* - (*I* - *M* )*A*]-1 型※）から、ある産業に最終需要が１単位生じた場合の生産波及の大きさをみると、全産業平均では 1.3333 倍となり、平成 12 年の 1.2670 倍と比べて 0.0663 ポイント上昇した。

産業別にみると、食料品（1.5472 倍）、パルプ・紙・木製品（1.5458 倍）、鉱業（1.5035 倍）、畜産（1.4988

倍）、窯業・土石製品（1.4985 倍）などが全産業平均より大きくなっている。

また、生産波及の大きさを平成 12 年と比べると、上昇した主な業種は、パルプ・紙・木製品（0.2221 ポイント）、鉱業（0.1804 ポイント）、精密機械（0.1562 ポイント）となっている。一方、低下した主な業種は、畜産（△0.0793 ポイント）、鉄鋼（△0.0505 ポイント）、一般機械（△0.0393 ポイント）となっている。

※ [*I* - (*I* - *M* )*A*]-1 型とは、移輸入を考慮した逆行列係数で、産業連関表を用いた生産波及分析において一般的に利用されている型である。

表２ 逆行列係数表（列和）[*I* - (*I* - *M* )*A*]-1 型

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成12年 | 平成17年 |
| 農業 | 1.2209 | 1.2737 |
| 畜産 | 1.5781 | 1.4988 |
| 林業 | 1.2716 | 1.3127 |
| 漁業 | 1.1580 | 1.1893 |
| 鉱業 | 1.3230 | 1.5035 |
| 食料品 | 1.4421 | 1.5472 |
| 繊維製品 | 1.2175 | 1.2483 |
| パルプ・紙・木製品 | 1.3237 | 1.5458 |
| 化学製品 | 1.1976 | 1.3015 |
| 石油・石炭製品 | 1.2629 | 1.3415 |
| 窯業・土石製品 | 1.3914 | 1.4985 |
| 鉄鋼 | 1.3670 | 1.3165 |
| 非鉄金属 | 1.1814 | 1.1562 |
| 金属製品 | 1.1713 | 1.2421 |
| 一般機械 | 1.2141 | 1.1748 |
| 電気機械 ※旧 |  | 1.2646 |
| 情報・通信機器 電気 | 1.2066 | 1.2486 |
| 電子部品 機械 |  | 1.2588 |
| 輸送機械 | 1.2017 | 1.2406 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 平成12年 | 平成17年 |
| 精密機械 | 1.1879 | 1.3441 |
| その他の製造工業製品 | 1.1608 | 1.2792 |
| 建設 | 1.2811 | 1.3322 |
| 電力・ガス・熱供給 | 1.3687 | 1.3338 |
| 水道・廃棄物処理 | 1.3103 | 1.3452 |
| 商業 | 1.2401 | 1.2750 |
| 金融・保険 | 1.2614 | 1.3217 |
| 不動産 | 1.1424 | 1.1326 |
| 運輸 | 1.2534 | 1.3447 |
| 情報通信 | 1.3220 | 1.3277 |
| 公務 | 1.1710 | 1.1789 |
| 教育・研究 | 1.1262 | 1.1755 |
| 医療・保健・社会保障 | 1.2105 | 1.2265 |
| その他の公共サービス | 1.2311 | 1.2515 |
| 対事業所サービス | 1.2017 | 1.2271 |
| 対個人サービス | 1.3275 | 1.3200 |
| 事務用品 | 1.4791 | 1.5572 |
| 分類不明 | 1.3406 | 2.1975 |
| 全産業平均 | 1.2670 | 1.3333 |

（注）平成12年は35部門、平成17年は37部門による